



青森県感染症発生情報 (2024年第35週)

I 第35週の発生動向 (2024/8/26~2024/9/1)

- 手足口病については、すべての保健所管内で**警報**が継続しています。
- 新型コロナウイルス感染症については、報告数の増加が続いている地域もありますので、引き続き基本的な感染対策の徹底をお願いします。

II 第35週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ															-5
新型コロナウイルス感染症	148	12.33	130	10.83	180	15.00	100	14.29	175	19.44	110	18.33	843	14.53	-195
小児科															
RSウイルス感染症	11	1.57	9	1.13	15	2.14	5	1.00	4	0.67	14	3.50	58	1.57	14
咽頭結膜熱	1	0.14			3	0.43							4	0.11	-7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.57	7	0.88	13	1.86	6	1.20	2	0.33			32	0.86	2
感染性胃腸炎	10	1.43	12	1.50	24	3.43	2	0.40					48	1.30	8
水痘	1	0.14	1	0.13			1	0.20					3	0.08	2
手足口病	23	3.29	32	4.00	70	10.00	55	11.00	30	5.00	55	13.75	265	7.16	18
伝染性紅斑	10	1.43	1	0.13			1	0.20	7	1.17			19	0.51	-4
突発性発しん	2	0.29	1	0.13	6	0.86	5	1.00					14	0.38	4
ヘルパンギーナ	7	1.00	14	1.75	5	0.71	8	1.60	4	0.67	6	1.50	44	1.19	3
流行性耳下腺炎					2	0.29							2	0.05	2
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.10	0
基幹															
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎											4	4.00	4	0.67	-1
無菌性髄膜炎															0

感染症の窓

エムボックス

エムボックスは、エムボックスウイルス感染による急性発疹性疾患で、感染動物に咬まれたり、感染動物と接触することにより、動物からヒトに感染することが確認されています。また、感染している方との接触でヒトからヒトへの感染が起こる可能性があります。

感染すると、通常7~14日の潜伏期間の後、発疹、発熱、倦怠感、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。

今般、世界保健機関(WHO)は、コンゴ民主共和国及びアフリカの複数の国におけるエムボックスの感染拡大がアフリカ大陸外にまで広がる可能性があるとして、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言しました。

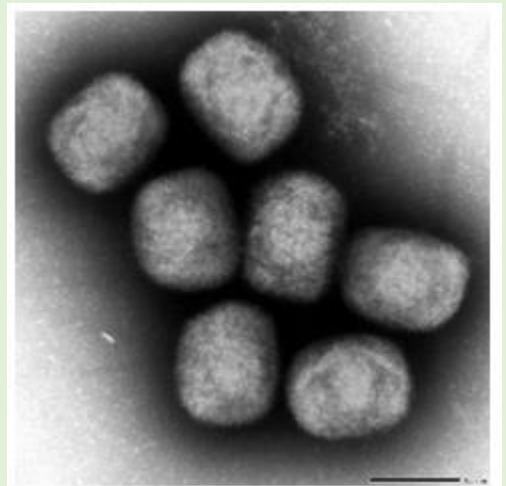
エムボックスウイルスには、異なる型のウイルスがあり、現在、コンゴ民主共和国等で流行しているのは、コンゴ盆地系統のウイルスで、2022年以降に世界的流行をもたらした西アフリカ系統よりも重篤な症状を引き起こすと言われていています。外務省からもコンゴ民主共和国などアフリカの7か国を対象に「感染症危険情報(レベル1)」が発出されていますので、渡航や滞在する場合には感染に十分注意してください。

中央アフリカや西アフリカ地域では、以下のような感染予防対策を心がけ、感染が疑われる場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

- ・ネズミやリス等のげっ歯類等(死体を含む。)との接触や野生動物の肉を食べたり調理することを避ける。
- ・症状のある人の飛沫・体液等との接触を避ける。
- ・石けんと水、またはアルコールベースの消毒剤を使用した手指衛生を行う。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞[エムボックスに関する感染症危険情報\(レベル1\)の発出\(外務省海外安全ホームページ\)](#)



エムボックスウイルスの電子顕微鏡写真
(出典：国立感染症研究所ホームページ)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症)：八戸市2人、上十三2人 (2024年計：65人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)：上十三1人 (2024年計：19人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類感染症)：弘前1人 (2024年計：16人)
- ・梅毒(五類感染症)：八戸市1人 (2024年計：18人)
- ・百日咳(五類感染症)：むつ1人 (2024年計：20人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日 報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2024年第32週～2024年第35週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
32		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症4人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	
33	腸管出血性大腸菌 感染症1人 水痘(入院例)1人 梅毒1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人				
34	腸管出血性大腸菌 感染症1人 レジオネラ症1人		百日咳1人		梅毒1人	日本紅斑熱1人 カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人 百日咳2人
35		侵襲性肺炎球菌感 染症1人	梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	百日咳1人

第34週に上十三保健所管内で梅毒の届出が1件ありましたので、追加しました。

Ⅵ 結核(二類感染症) (2024年第32週～2024年第35週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
32		3			1	
33		1				1
34						
35			2		2	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第34週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス
累積報告数	9818	2	43	2061	25	4	345	98	6	15

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
累積報告数	3	10	6	1	1	91	2	3	104	139

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	244	1	4	4	32	21	2	1384	6	352

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	142	1316	27	352	14	99	1407	643	26	430

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	38	1703	319	9138	130	52	81	1203	6	28

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	4

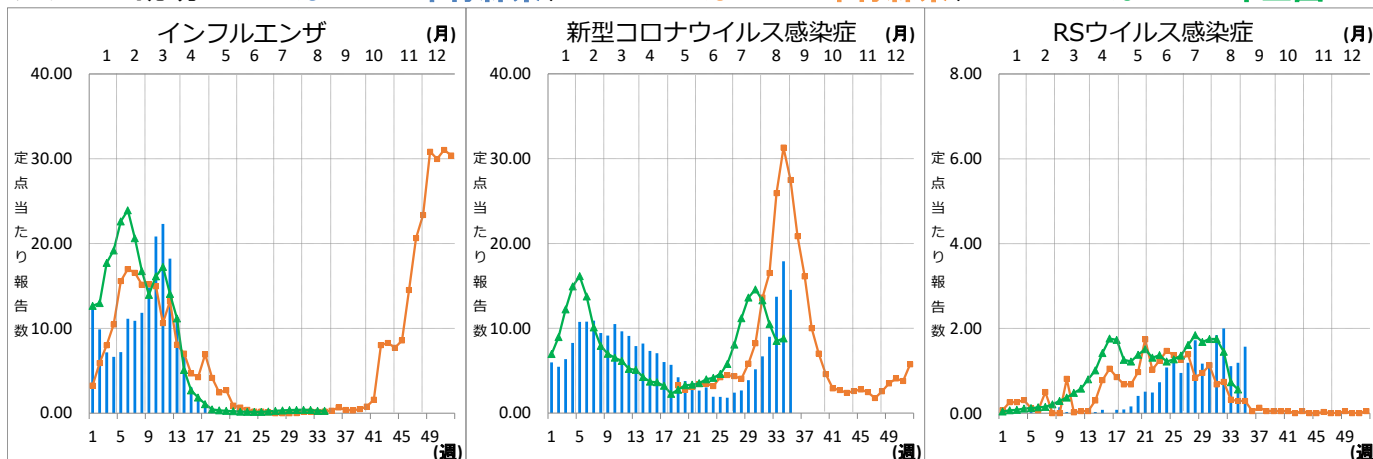
青森県（2024年第1週～第35週までの累計）

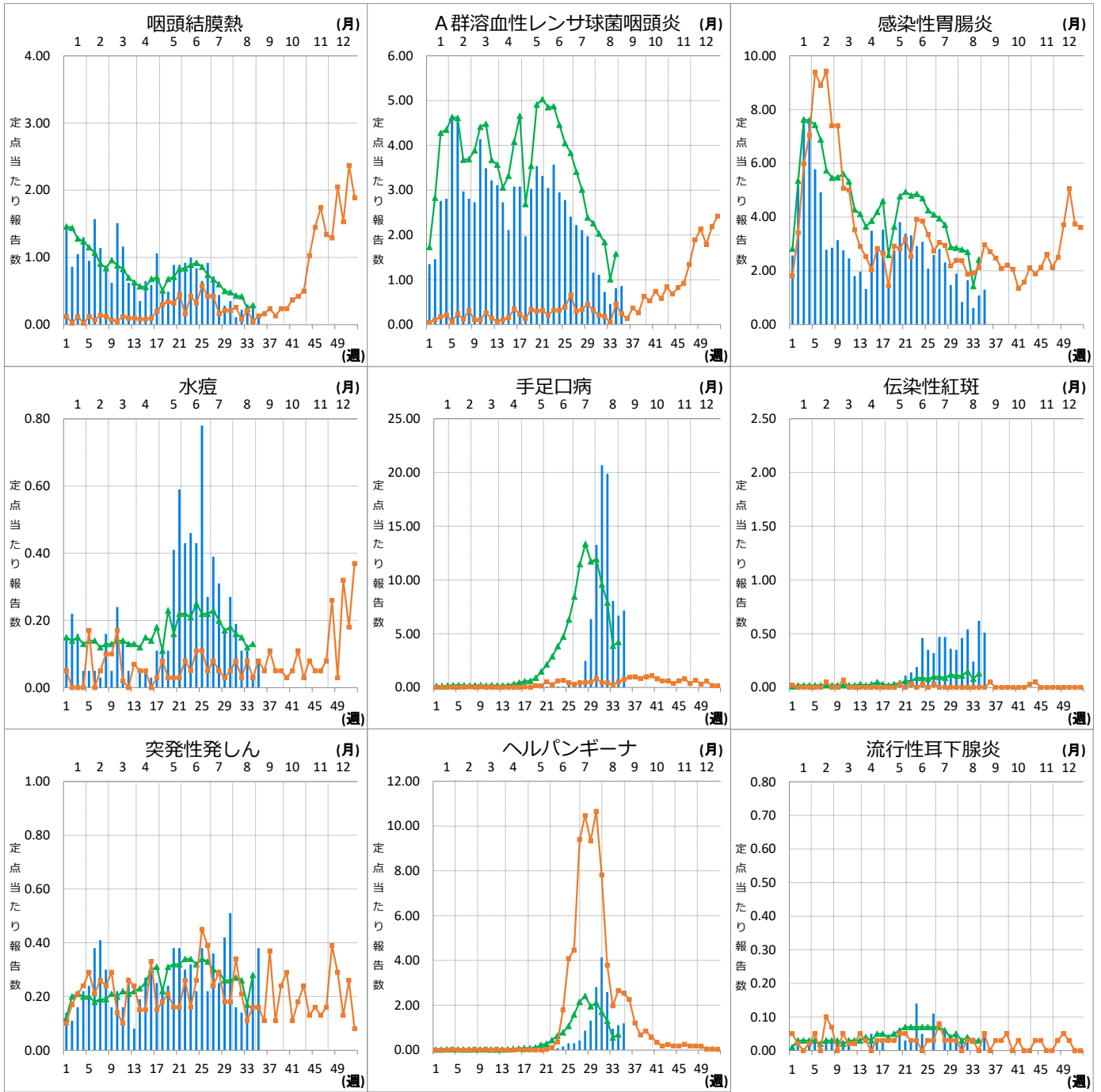
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	65	19	1	8	1	12	1	21	2	4

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳
累積報告数	11	1	2	16	4	18	2	20

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024年第35週、ただし全国は前週）

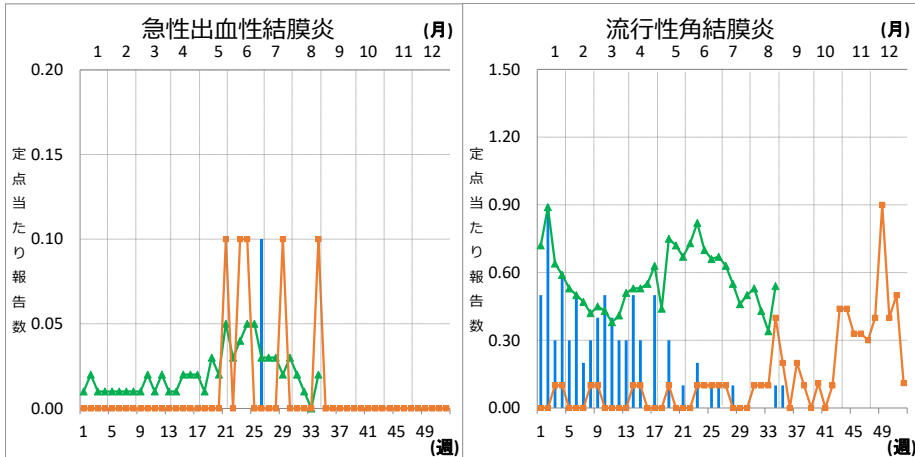
グラフの説明 ← は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国





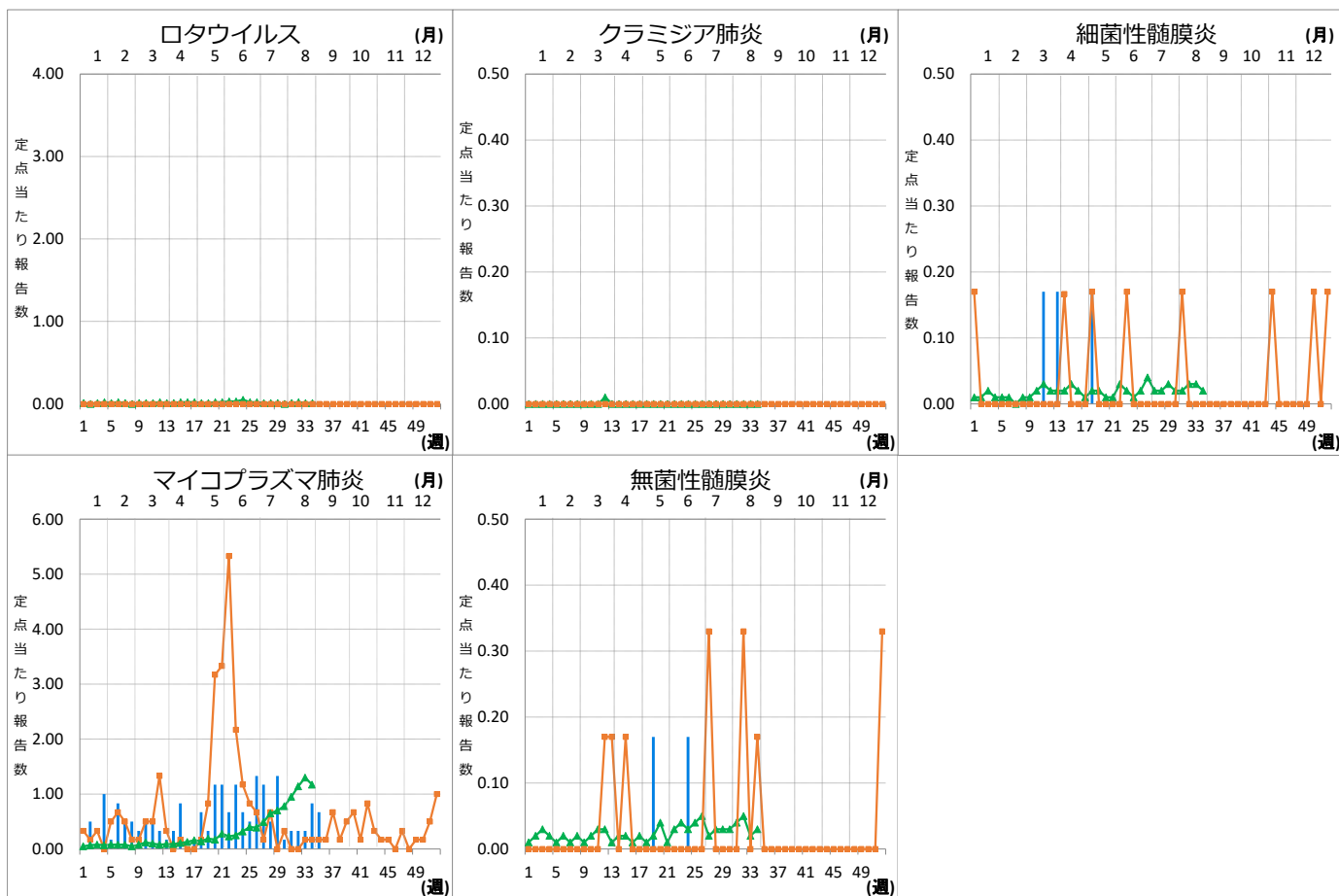
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第35週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2024年青森県、 は2023年青森県、 は2024年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2024年第35週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2024年青森県、 は2023年青森県、 は2024年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2024年第35週

報告はありませんでした。

2024年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)												計 (施設別)				
	1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18-21週	6月 22-26週	7月 27-30週	8月 31-34週	9月					10月 40-43週	11月 44-47週	12月 48-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	4	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	発症者数	78	101	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	195
児童・婦人関係施設等	件数	9	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	発症者数	178	0	17	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	210
障がい関係施設	件数	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	発症者数	55	0	12	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	16	7	3	1	0	1	0	0	0				0	0	0	28
	発症者数	311	101	45	15	0	12	0	0	0				0	0	0	484